

鹿俣山 雪山実技講習 山行報告

【山城】 奥利根

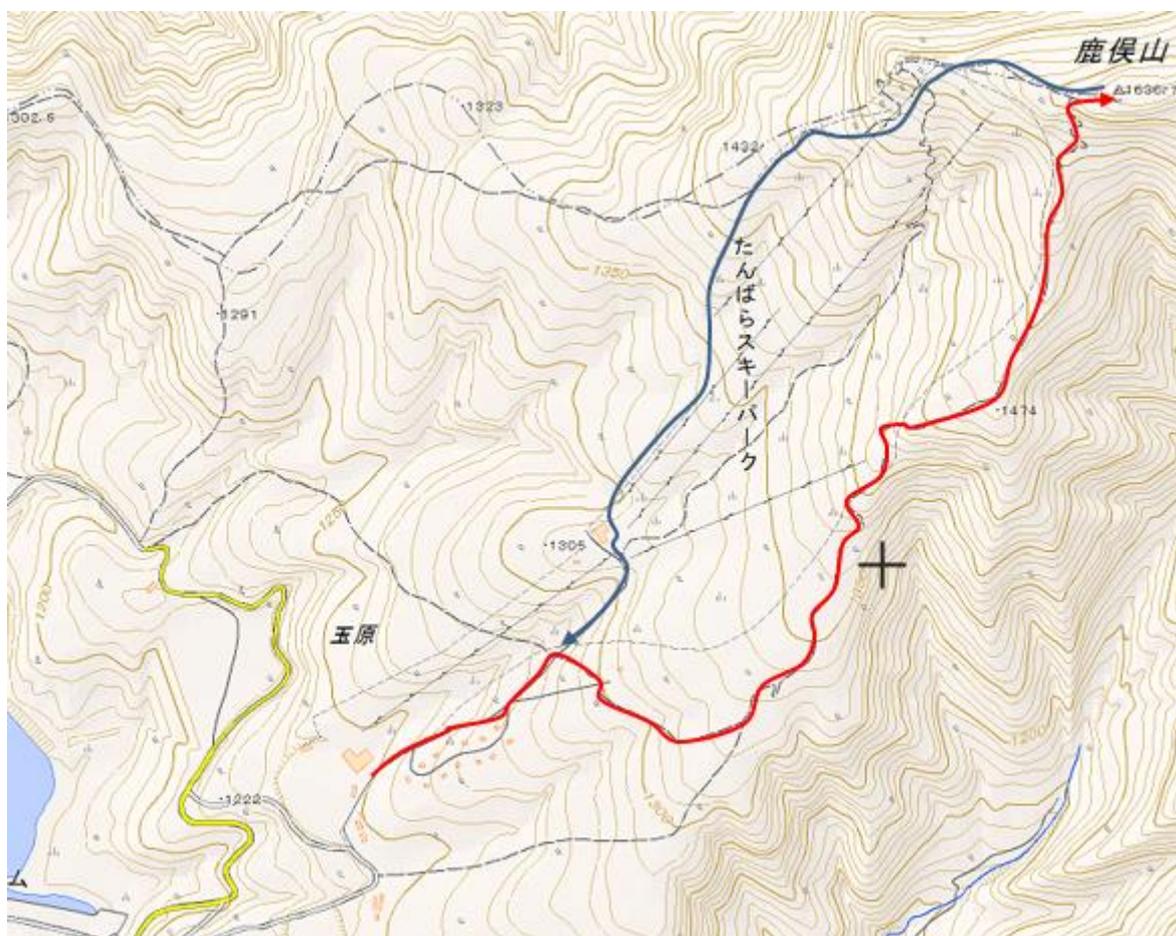
【日時】 12月16日(土) 【天気】 快晴

【参加者】 CL 柘植、SL 澤田(淳)、斉藤(一)、堀田、鈴木(憲)、鈴木(愛)、
大木、石井、飯田、松本(か)、上荒磯、室(達)、加藤(記録)

【コース】 たんばらスキーパーク駐車場 8:30→ペンション村→森林キャンプ場→12:00 鹿俣山山頂
→スキー場のゲレンデ脇を下山→駐車場 13:30

【報告】

鹿俣山は上州武尊岳の西、尾瀬の南西に位置しており、付近には尼ヶ禿山、玉原高原がある。駐車場があるたんばらスキーパークに私は夏に来たことがあるが、ラベンダーのお花畑となっている。冬は初級者向けの広いゲレンデがあり、当日も多くの家族連れがいた。今回は天候の予測が難しく日時を16日に決定したのは前日の夕方であった。



登山口はたんばらスキーパークの真横の林道で除雪されていた。奥まで歩き、除雪終了点でワカンをつける。CLは譲ってもらったという大きなスノーシューをつけるのに少々難儀していた。森林キャンプ場からは平坦でトレースは全くない。男性、女性と順番に列を作り先頭を交替しながら夏道通りに赤テープを確かめながら進んで行く。傾斜が少し急になっても雪は膝下程度なので大変ではない。ゲレンデのそばに出るところがあり、赤テープを辿っても道が判り難い箇所もある。頂上直下は笹ヤブに入った所もあったが、高い所を目指して行くと、赤テープも見つかり、分岐点では山スキーのトレースもあり、すんなりと頂上に立つことができた。東に剣ヶ峰。西に玉原湖、上州子持山、小野子三山、遙か向こうに浅間山が見え、素晴らしい展望である。



駐車場の風景



ワカン・スノーシュー装置して準備完了



先頭はそれなりにきつい



交代でラッセルすることにする



室達くん



はるかちゃんいく



堀田さん？



こんな下りはスノーシューは苦手



このあたりは笹原の深い雪



前のほうは結構たいへん



後ろには道ができています



淳子さん



もう山頂も間近



山頂記念写真



山頂は風もなく暖かい日差しを楽しんだ後は下山である。玉原高原に下るルートは遠回りなのでスキー場のゲレンデの端をスキーヤー、ボーダーの邪魔にならないように下って行った。新人の M さんは銀マットで尻セードを試していたが傾斜が緩いのでなかなか滑って行かない。

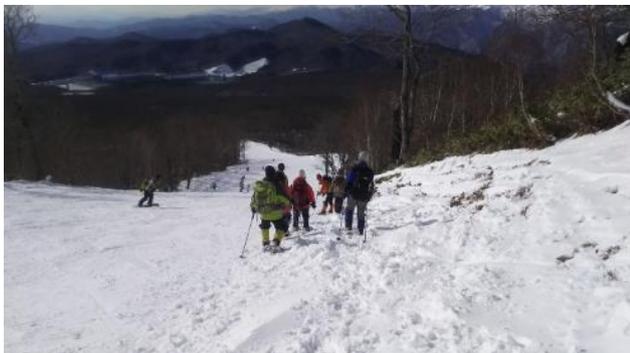
下山後は昭和の湯で入浴し、道の駅めぐり一む昭和で旬の野菜やクリスマスの花を買い込み、解散した。CL の車は早々に帰葉したが、残りのメンバーは道の駅に併設された食堂に立ち寄り、私は群馬県の郷土食「おっきりこみ」を賞味した。幅広の煮込み麺料理に旬の野菜やキノコがあり、「ほうとう」に似ているがカボチャが主な味付けではない。私は初めて味わったが、お薦めの料理です。



山頂でのんびりくつろぐ



シリセードに挑む室達くん



下山はスキー場ゲレンデの端を降りる



あまり右によるとスキーヤーの迷惑ですよ



もう終了地点も間近